

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月29日

計画の名称	1 都市公園等の整備推進と安全安心化		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	佐賀県、佐賀市、伊万里市、基山町、嬉野市、唐津市、大町町、多久市
計画の目標	平成20年度末における佐賀県内の都市公園等は228箇所あり、総面積は775ha、一人当たり公園面積は10.9㎡である。ようやく全国平均の一人当たり公園面積を上回ったが、今後も都市の環境や防災、レクリエーションの空間などを充実するため、都市公園等の整備推進を図る。 また、既に供用している都市公園内の園路、広場、トイレのバリアフリー化、橋梁等の耐震改修を行い、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を図る。 さらに、老朽化した公園施設を計画的に改修することにより、公園利用者の安全・安心確保や、公園施設に係るトータルコストの低減を図る。		

計画の成果目標（定量的指標）

- 都市公園等の一人当たり公園面積を10.9㎡（H21）から12.0㎡（H26）に増加
- 都市公園等の園路、広場のバリアフリー化率を39%（H21）から42%（H26）に増加
- 都市公園等のトイレのバリアフリー化率を31%（H21）から41%（H26）に増加
- H26年度までに5公園において公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改修を行い、改築が必要な公園施設の改修率を0%から100%にする。
- 平成22年7月の梅雨前線豪雨で崩壊した法面の復旧を図る

定量的指標の定義及び考え方	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H21)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
都市公園の一人当たり公園面積	10.9㎡	11.4㎡ (4.5%増)	12.0㎡ (10.1%増)	
園路、広場のバリアフリー化率	39%	40%	42%	
トイレのバリアフリー化率	31%	34%	41%	
公園施設の改築率	0%	0%	100%	
法面復旧率	0%	100%	100%	

拠点施設・重点地区	【拠点施設】 吉野ヶ里歴史公園、佐賀城公園、森林公園、巨勢公園、伊万里ファミリーパーク、国見台公園、基山総合公園、嬉野総合運動公園、轟の滝公園、舞鶴海浜公園、大久保緑地、ボタ山多目的公園、中央公園									
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,065 百万円	A	6,399 百万円	B	0 百万円	C	666 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	9.4%

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	公園	一般	佐賀県	直接	佐賀県	都市公園事業（吉野ヶ里歴史公園）	園路、広場等 A=63ha	神埼市、吉野ヶ里町						3,220	
1-A1-2	公園	一般	佐賀県	直接	佐賀県	都市公園事業（佐賀城公園）	園路、広場等 A=32.3ha	佐賀市						1,198	
1-A1-3	公園	一般	佐賀市	直接	佐賀市	都市公園事業（巨勢公園）	園路、広場等 A=2.9ha	佐賀市						38	
1-A1-4	公園	一般	伊万里市	直接	伊万里市	都市公園事業（伊万里ファミリーパーク）	園路、広場等 A=27.6ha	伊万里市						513	
1-A1-5	公園	一般	伊万里市	直接	伊万里市	伊万里市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	橋梁耐震化等（国見台公園）	伊万里市						120	
1-A1-6	公園	一般	基山町	直接	基山町	都市公園事業（基山総合公園）	園路、広場等 A=13ha	基山町						180	
1-A1-7	公園	一般	嬉野市	直接	嬉野市	嬉野市公園施設長寿命化計画	公園数n=12、面積A=57.8ha	嬉野市						12	
1-A1-8	公園	一般	唐津市	直接	唐津市	都市公園事業（舞鶴海浜公園）	法面、擁壁等 A=3.7ha	唐津市						24	
1-A1-9	公園	一般	唐津市	直接	唐津市	都市公園事業（大久保緑地）	法面工 A=1.5ha	唐津市						8	
1-A1-10	公園	一般	大町町	直接	大町町	特定地区公園事業（ボタ山多目的公園）	広場、駐車場、児童広場 A=10.5ha	大町町						316	
1-A1-11	公園	一般	嬉野市	直接	嬉野市	嬉野市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	バリアフリー化、改築（園路等）	嬉野市						384	
1-A1-12	公園	一般	基山町	直接	基山町	基山町都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	バリアフリー化、改築（園路等）	基山町						60	
1-A1-13	公園	一般	佐賀市	直接	佐賀市	佐賀市公園施設長寿命化計画	公園数n=55、面積A=97.5ha	佐賀市						24	
1-A1-14	公園	一般	佐賀市	直接	佐賀市	佐賀市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	バリアフリー化、改築（園路等）	佐賀市						66	公園施設の改築はH25年度まで
1-A1-15	公園	一般	多久市	直接	多久市	多久市公園施設長寿命化計画	公園数n=6、面積A=20ha	多久市						16	
1-A1-16	公園	一般	多久市	直接	多久市	多久市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	防災機能向上、改築（園路等）	多久市						144	
1-A1-17	公園	一般	唐津市	直接	唐津市	唐津市公園施設長寿命化計画	公園数n=31、面積A=62.4ha	唐津市						24	
1-A1-18	公園	一般	基山町	直接	基山町	基山町公園施設長寿命化計画	公園数n=10、面積A=19ha	基山町						14	
1-A1-19	公園	一般	佐賀市	直接	佐賀市	佐賀市公園施設長寿命化対策支援事業	中・小規模30公園における遊具施設及び一般施設等の改修	佐賀市						38	
合計											6,399				

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	施設整備	一般	嬉野市	直接	嬉野市	嬉野総合運動公園の追加整備	屋根付き広場、サッカーグラウンド	嬉野市						416	
1-C1-2	施設整備	一般	基山町	直接	基山町	中央公園の追加整備	図書館整備	基山町						250	
合計											666				

その他関連する事業														
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
公園	一般	佐賀県	直接	佐賀県	佐賀県公園施設長寿命化計画	公園数n=3 A=103ha	佐賀市外						24	
公園	一般	佐賀県	直接	佐賀県	佐賀県都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業（森林公園）	公園数n=1、面積A=40ha	佐賀市						188	
公園	一般	佐賀県	直接	佐賀県	佐賀県都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業（吉野ヶ里歴史公園）	公園数n=1、面積A=35.4ha	神埼市、吉野ヶ里町						86	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園等の整備推進により、都市公園等の総面積が1割増加し、都市の環境や防災、レクリエーションの空間などを充実に寄与した。 ・都市公園等の園路、広場、トイレ等のバリアフリー化を図ることで、公園の平等利用の促進、利便性・快適性の向上に寄与した。 ・公園施設長寿命化計画に基づき公園施設（遊具施設）の改築が必要とされていた5公園について、施設の改築を行うことで公園利用者の安全性の向上を図ることができた。 ・平成22年7月の梅雨前線豪雨で崩壊した法面の早期復旧を行うとともに、公園利用者の安全性の向上を図ることができた。 			
		定量的指標	最終目標値	最終実績値	評価
II 定量的指標の達成状況		指標①：都市公園の一人当たり公園面積	12.0㎡	11.6㎡	<p>都市公園事業について、配分額が当初見込んでいた事業費に満たず、事業期間の延伸（一部、第II期計画に継続）が必要となったことにより目標値と実績値に差が生じたもの。</p> <p>一人当たり公園面積（公園面積/都市計画区域内人口） 【目標値の算出】867.9ha/71.71万人≒12.0㎡ 【実績値の算出】851.7ha/73.00万人≒11.6㎡</p>
		指標②：園路、広場のバリアフリー化率	42%	43%	<p>計画的な事業執行に努め、目標を達成した。</p> <p>園路・広場のバリアフリー化率（基準適合公園数/園路・広場設置公園数） 【目標値の算出】87公園/206公園=42% 【実績値の算出】97公園/224公園=43%</p>
		指標③：トイレのバリアフリー化率	41%	34%	<p>バリアフリー化の基準適合公園数は約3割増加（42公園→55公園）し、概ね計画どおりの整備進捗を図ることができたが、母数となる都市公園数が増加したことにより目標値と実績値に差が生じたもの。</p> <p>トイレのバリアフリー化率（基準適合公園数/トイレ設置公園数） 【目標値の算出】58公園/143公園=41% 【実績値の算出】55公園/160公園=34%</p>
		指標④：公園施設の改築率	100%	100%	<p>計画的な事業執行に努め、目標を達成した。</p> <p>公園施設の改築率（対策済み公園数/要対策公園数） 【目標値の算出】5公園/5公園=100% 【実績値の算出】5公園/5公園=100%</p>
		指標⑤：法面復旧率	100%	100%	<p>計画的な事業執行に努め、目標を達成した。</p> <p>法面復旧率（対策済み公園数/要対策公園数） 【目標値の算出】2公園/2公園=100% 【実績値の算出】2公園/2公園=100%</p>
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・今回策定した公園施設長寿命化計画により、適切かつ計画的な公園施設の維持管理（補修・更新）を行うことでライフサイクルコストの低減が図られることになる。 			
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・本計画の定量的指標（目標値）については、第II期社会資本総合整備計画（H27～H31年度）においてフォローアップし、今後も引き続き目標達成を目指すことで、公園機能の充実、公園利用者の快適性、安全性の向上を図ることとする。 					